



北陸デラップス株式会社様 (所在地: 福井県福井市)

食品容器、食品包装用フィルム印刷物、包装資材、食品・産業用包装機械の販売を行う卸売業。

食品の安全性と品質を守りながら、素材選定から印刷、包装形態、包装機械までを一貫して提案し、「機能性・作業効率・コスト」のバランスを考えた最適な包装ソリューションを提供されています。

導入事例 ターコイズ販売管理V5

1人あたり月30時間の残業をゼロに！

システム統合で紙運用・非効率業務から脱却

6拠点で販売管理情報が分断され、異なる運用が混在する中、集計・分析の手間や帳票の印刷・郵送といった非効率な業務課題が顕在化していました。販売管理システムとPCの老朽化を機に、『ターコイズ販売管理システム』を導入。システム統合を軸に業務の流れと運用を見直し、業務の標準化やペーパーレス化を通じて残業ゼロを実現した事例をご紹介します。

取材協力

総務課長 経理統括 中田 賢悟 様
営業部 課長 桑森 義久 様

**導入事例
完全版を見る**



課題

- ・月末業務の集中と残業の常態化を解消
- ・分断した各拠点6システムの情報一元化
- ・紙と手作業に頼った運用からの脱却

効果

- ・月末業務を平準化し、残業ゼロを実現！
- ・標準化の重要性に気づき、全社運用統一へ
- ・ペーパーレス化で情報活用しやすい環境に

理や発注判断は各拠点の担当者の経験や勘に依存。全社で同じ判断基準や数字を把握できない状態が続いていました。

さらに、経営判断に必要な月次・年次資料の作成時は、拠点間の売上を把握するために本社へ紙帳票を集約し、不足する情報は電話で各拠点に問い合わせする必要がありました。結果、迅速な判断が難しい状況となっていました。月800枚以上の帳票印刷や郵送、電卓による集計や保管作業に多くの時間と労力を要し、情報をタイムリーに反映できない点も大きな課題でした。



一採用の決め手を教えてくださいー

営業・SEが当社の状況や課題を深く理解し、真摯かつ丁寧に寄り添った提案を行ってくれたことです。導入後も当社に寄り添い、継続的に支援してもらえるサポート体制に安心感がありました。

一効果はいかがですか？ー

販売管理業務の流れが整理され、月末に集中していた業務が平準化しました。「処理をためない・その場で処理する」

運用へ見直したことで、システムの待ち時間や処理遅延によるストレスが解消され、残業ゼロを実現。日常業務をスムーズに進められる環境が整いました。

また、システム統合により全社共通の基準で在庫や発注状況をリアルタイムに把握・判断できる体制を構築。ボタン一つでデータ出力が可能となり、電話での確認作業が不要になりました。担当者に依存しない運用に向けた環境が整い、迅速な経営判断への第一歩となりました。

さらに、帳票の紙運用から脱却し、印刷・本社への郵送・保管作業を削減。販売データを画面上で確認・参照できるペーパーレス環境を実現しました。資料作成の負担が大幅に軽減され、販売管理システムを“全社の業務基盤”として活用できる環境が整いました。

一今後の取り組みや展望を教えてくださいー

データに基づく判断の定着や在庫運用の最適化を軸に、社外業務環境の整備や生成AIの活用に取り組みたいです。変化に強い会社を目指し、事業継続・生産性向上につながる体制を整えたいですね。

一検討のきっかけを教えてくださいー

旧販売管理システムとPCの老朽化により、業務効率や情報共有の面で課題が顕在化してきました。今後の業務拡大や安定運用を見据え、老朽化・非効率な運用・複雑化した仕組みを整理し改善するため、システム刷新を検討しました。

一どのような課題をお持ちでしたか？ー

旧販売管理システムは、長年の運用により処理性能や機能不足が日常業務の負担となり、月末業務が集中することで1人あたり月30時間の残業が常態化。システム起動や伝票発行の待ち時間も発生し、日常業務の円滑な遂行が課題でした。

販売管理の情報は、本社・営業所・グループ会社を含む6つに分断され、在庫管

HOKURIKU DERAPS 株式会社
北陸 デラップス 株式会社
www.deraps.co.jp/index.php

お知らせ

New Member



今月、グループ合計で33名の社員を新たに迎えました。緊張した面持ちでしたが、それぞれが希望を胸に社会人としての第一歩を踏み出しています。今後は社内研修を通じて専門技術の習得に取り組み、現場での活躍を目指します。新入社員の今後の成長に、ぜひご期待ください。

BI×AI
経営データ
分析



カメラ×AI
現場の
見守り



勤怠管理×AI
公平な
シフト作成



会期 2026年5月21日(木)・22日(金)
会場 石川県産業展示館

お知らせ

Microsoft製品のサポート終了について

2027年までにサポート終了を迎える Microsoft 製品があります。サポート終了後はセキュリティの更新プログラム提供が停止し、事業継続上のリスクが増大。業務システムに関わる製品は対応に時間や労力が必要となるため、お早めの対応策検討が重要です。ぜひ弊社営業までご相談ください。

サポート
終了製品

- Windows 10 (ESU 1年目) : 2026年10月
- Windows Server 2016 : 2027年1月
- SQL Server 2016 : 2026年7月
- Microsoft Office 2021 : 2026年10月 など



イベント出展のご案内

「e-messe kanazawa 2026」に出展します!



5月21日(木)・22日(金)、『e-messe kanazawa 2026』が開催されます。今回の弊社ブースでは、業務システムとの連携を見据えたAI活用のPoC(実証実験)を複数展示する予定です。

総務省の最新の情報通信白書によると、日本企業では生成AIの業務利用が広がる一方で、「効果的な活用方法がわからない」といった課題も多く挙げられています。こうした状況を踏まえ、弊社ブースでは、業務改善の取り組みの一例としてAI活用策をご紹介します。貴社における業務改善のヒントとして、ぜひ弊社ブースをご覧ください。

お知らせ

「子ども・子育て支援金制度」が4月から開始しました。給与システム対応など、必要なご準備はお済みでしょうか？

HCSのよここがお

システム本部
ソリューションシステム部

つじ きっぺい
辻橋平さん

て努力を続けていきたいです。

Q. 業務内容を教えてください。

産業界向け基幹システムの開発に携わり、お客さまとの打ち合わせから設計、受け入れテストまで、上流工程を中心に担当しています。

日々の業務では、社内外問わず迅速なレスポンスを心がけ、円滑なコミュニケーションと信頼関係の構築に努め

ています。

過去の開発経験で培った知識も活かし、仕様検討や問い合わせ対応を1人で行う場面も増えてきました。業務を通じて対応範囲が広がり、成長を実感する機会も多くなっています。

今後は、開発と上流工程の両方に精通した「二刀流」のエンジニアを目指し

Q. 趣味や最近のMyニュースを教えてください。

大学時代から続けているサウナが趣味で、月2回ほど通っています。友人や同僚と一緒にいくことが多く、おすすめの施設を紹介し合いながら新しいサウナを開拓するのも楽しみの一つです。



次回は、同僚おすすめの岐阜県のサウナに行きたいです!

編集後記

春の穏やかな日差しが続く季節となりました。桜が見頃を迎え、忙しい日常の中でも、ふと春を感じる瞬間が増えてきましたね。この春、弊社は33名の新入社員を迎え、新年度らしいフレッシュな空気が広がっています。

さて本号では、『ターコイズ販売管理システム』の導入を通じて、業務改善に取り組みられた卸売業のお客さまの事例をご紹介しました。拠点ごとに分断された運用や月末業務の集中といった課題を解消し、業務の標準化とペーパーレス化により、残業ゼロを実現されています。業務は回っているものの、非効率や属人化に不安を感じていませんか。改善のヒントとして、ぜひ一度弊社へご相談ください!(うえずぎ)

皆さまのご意見をお聞かせください

より役立つ情報掲載のため、皆さまの「気になる」「知りたい」コト、掲載記事のご感想などをぜひお聞かせください。
『HCS NewsLetter ご意見箱』への投稿はこちら→



全カパートナー



北陸コンピュータ・サービス株式会社

NewsLetter 編集室

TEL : (076)495-9824 HP : https://www.hcs.co.jp/